

# 仕事と生活の バランス

2024  
SUMMER

vol.65

見つけよう  
くらしと仕事の ちょうどいい

2023ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ  
兵庫労働局長賞・働き方改革賞・一般の部作品

わが社のWLBな人

詳しくは裏表紙へ



特集

## 労働力人口の減少は企業の死活問題！

4 | 事業報告

5・6・7 | センターからのお知らせ／県政トピックス

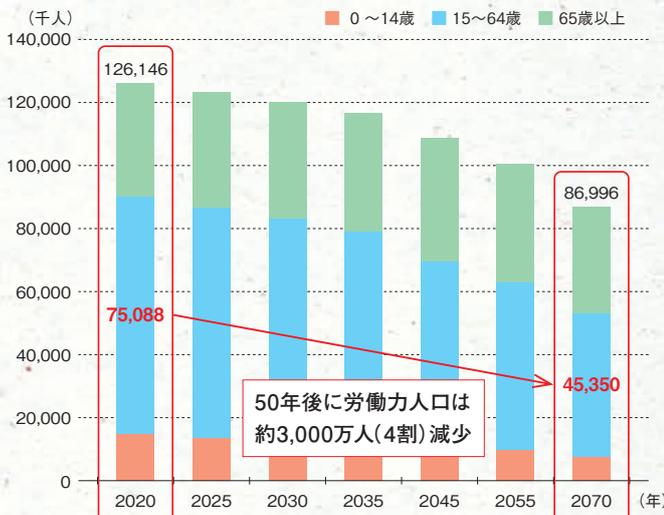
8 | わが社のWLBな人

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、50年後（2020年→2070年）の日本の労働力人口（15～64歳人口）は、約3,000万人（4割）減少すると見込まれています。企業にとって、人手不足は存続を左右する死活問題になりかねません。

少子高齢化に伴う人口の自然減（出生数－死亡数）は全国共通の問題ですが、兵庫県はそれに加え、人口が県外に流出する社会減（転出数－転入数）の問題を抱えています。

この10年間（2014～2023年）の兵庫県の社会減（転出超過数）の合計は約6.8万人で、社会減だけで一つの大きな市がなくなる勢いです。その転出超過数に占める若者（20～24歳）の合計は約4.8万人で、全体の約7割となっています。これから働き手となり、出産を迎える世代の人口流出は、今後の兵庫県の労働力人口の減少にさらに拍車をかけることになりかねません。

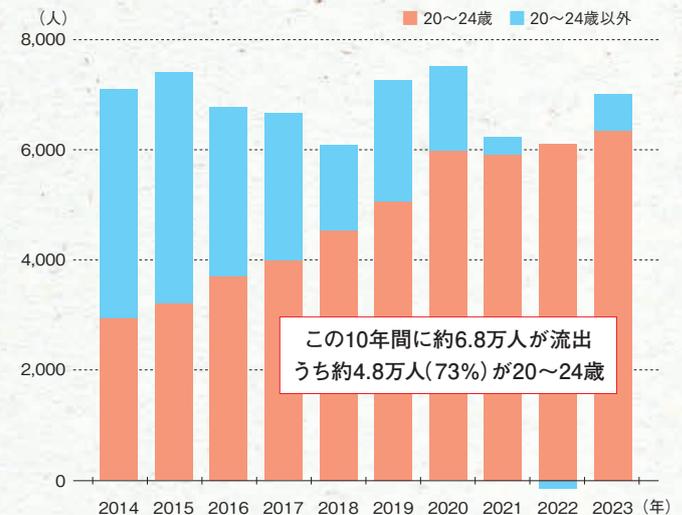
日本の将来推計人口



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

50年後に労働力人口は約3,000万人（4割）減少

兵庫県の転出超過数



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

この10年間に約6.8万人が流出  
うち約4.8万人（73%）が20～24歳

## 大学生を対象にしたWLB表彰企業研究フェアを開催

「人材確保に困っている」との企業の声に何かお応えできないかと、大学生を対象とした、ワーク・ライフ・バランス（WLB）表彰企業だけが参加できる「企業研究フェア（合同企業説明会）」を3年前からオンラインで開催しています。

合同企業説明会が乱立しているこの時代に、WLB表彰企業だけが集まるこの説明会は、全国的にも例を見ず、他の合同企業説明会との差別化が図られています。また、オンラインでの開催にこだわる理由は、県外の大学に在籍する兵庫県出身者にも情報を届けたいとの思いからです。

おかげさまで、2月19日に開催した企業研究フェアには、県内の19大学95人に加え、県外の57大学から83人の参加がありました。大学名を見ると、北海道から九州まで広く参加をいただいております、それなりの成果があったと考えています。



### 【当日のタイムスケジュール】

- 12:30～12:55 オープニング学生向けセミナー  
「WEB面接でチャート状態になる方法」
- 13:00～14:30 採用担当者とのタイパ抜群座談会（15分×4ターン）
- 14:45～16:05 個別企業ブース訪問（20分×3ターン）

### 【開催結果】

参加企業：WLB表彰企業41社 対象学生：全学年  
参加学生：76大学178人（県内19大学95人、県外57大学83人）  
個別企業ブース訪問延べ人数：306人（2.6社/人、7.4人/社）

# ワーク・ライフ・バランスの取組が企業を救う！

## WLB表彰企業研究フェアに毎年参加している企業に話を伺いました

**アスカカンパニー株式会社【2018年度WLB表彰企業】** 製造業・従業員252人〔本社：加東市〕

Q. 3年前の初開催から毎年参加されている理由は。

A. まず、フェアの参加学生が多いことです。リアル開催の合同説明会だと多くて50人ですが、いっぺんに100人以上の学生と接点を持てるオンライン開催は魅力です。もう一つは、企業ブースに来た学生が個別説明会など次の段階へ進んでくれる確率が高いことです。他のウェブイベントでは1割ほどですが、このフェアは毎年3～6割の学生が次に進んでいます。



取締役管理本部長  
門脇弘朋さん

Q. ブースでの企業説明で工夫していることはありますか。

A. 採用活動は「企業が学生を選ぶ」と思いがちですが、「学生も企業を選びに来ている」ので、「アスカのファンをつくる」というスタンスで学生に接しています。自分の会社の話ばかりでなく、いい企業の見極め方や面接への臨み方を伝えて、「そんなアスカがどんな面接をするか気になる人はエントリーしてね」という感じです。

Q. 近年は新卒採用に100人以上の書類応募があるそうですが、6年前までは毎年10～20人だったとか。

A. 合同説明会に参加しても、1人しか学生が来ないこともざらでした。その頃、採用は総務が片手間で行っていましたが、業績好調による人員拡大が必要となりました。当時の長沼恒雄社長は「立地柄、採用は今後ますます厳しくなる」との危機感から、「WLB企業というお墨付きをもらったら、学生へのアピールになるのではないかと、2018年にひょうご仕事と生活センターの認定と表彰を取りました。それがきっかけで各種認証を取得したことがセミナーでの事例発表や県立大学での講師など発信の機会につながり、評判が口コミで広がっていききました。

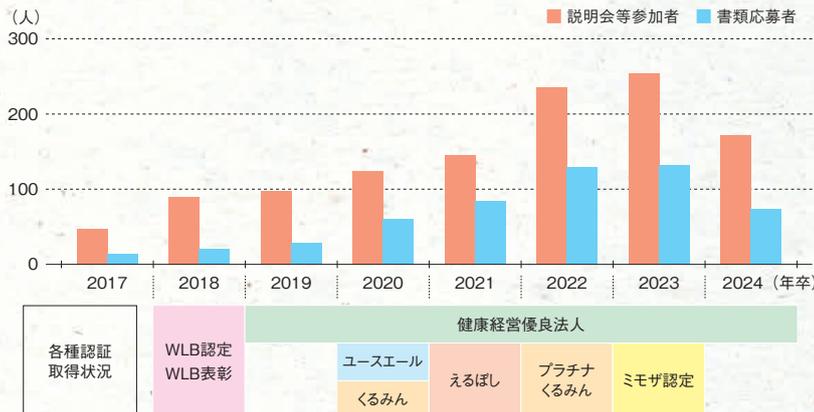
大卒採用にUターン者が増えている同社。2021年度にUターン就職した清水さんに話を伺いました。



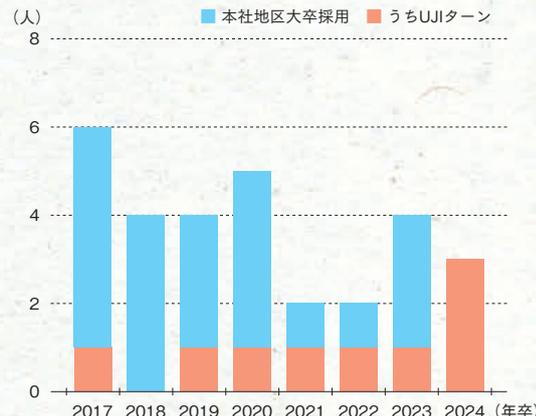
HR・管理グループ  
清水咲良さん

加古川市出身ですが、東京の大学に行ったので、就職も向こうですつもりで、大学3年生の年末まで東京で就活していました。ただ、じっくりる会社に出会えず、満員電車や人ごみにも疲れてしまって…。年末年始に帰省し、Uターン就職を決意。たまたま2月開催のアスカカンパニーのインターンシップを見つけて参加すると、社員がキラキラしていて一目惚れしました。決定的だったのは、インターンシップでの会社からのフィードバックです。グループワークなどでの発言や対応をしっかり見てくださり、参加学生一人一人に長所と短所を書いてくれました。こんな会社は初めてで、「ここで働きたい」と思い入社を決めました。

### 応募状況



### 採用状況



## 2023年度兵庫県立大学との共同研究報告会を開催しました

2024年3月、兵庫県立大学国際商経学部の加納ゼミ、高階ゼミとひょうご仕事と生活センター（以下センター）の共同研究報告会を協力企業各社で行いました。

本共同研究は2012年度から実施しており、毎年、選定した企業にヒアリングを行い、ワーク・ライフ・バランス（WLB）

に関する研究テーマを設定して調査し、学生の新たな視点から課題の洗い出しや検討を行うことで、企業・団体のWLB推進支援につなげることを目的としています。

2023年度は3企業の協力を得て従業員へのアンケート調査を実施した上で、分析を行いました。



## 株式会社神戸ポートピアホテル 【2013年度宣言企業】

若手や女性の従業員が多く活躍している株式会社神戸ポートピアホテル。高階ゼミの3チームがそれぞれテーマを設定して分析しました。その結果、以下のことが明らかになり、学生から対策を提案しました。

- ・男女かかわらず女性特有の健康問題について理解を促進し、支援をすることにより、職場定着意思が高まる。
- ・上司の支援とWLBの関係では、適材適所に配置するなど、上司から特定の部下に業務が偏らないよう配慮することが必要である。
- ・ホテル従業員が行うラテラル・サービス（部門を超えた助け合い）について、一般職と管理職では意識の差があった。各部署の管理職に対してヒアリングを行い、乖離の要因を明らかにすることで、ラテラル・サービス意識の改善につながるのではないか。



## オークラ工業株式会社 【2021年度認定企業】

従業員一人一人が“自分らしく”過ごせるよう、身だしなみルールを緩和するなど、柔軟な発想と多様な価値観を受け入れる社風のオークラ工業株式会社。加納ゼミの2チームが担当し、分析した結果、以下のような提案を行いました。

- ・コミュニケーションについて、職務中は良好であるが職務外は人によりばらつきがあるため、短時間で終わりが決まっている食事会やシャッフルランチなど、幅広い年齢層が参加できる親睦会を開催し、交流を増やす。
- ・WLB推進により働きやすい環境が整っている一方で、働きがいと愛着心がやや弱いという結果であった。従業員の職務と評価項目との関係性や報酬との結び付きを再確認し、制度の見直しを検討してはどうか。



## ケンプリア株式会社 【2021年度認定企業】

世界で初めて大麦若葉の青汁を開発した経緯もあり、従業員の健康経営推進に力を入れるケンプリア株式会社。加納ゼミの2チームは、「WLBが社員に与えるやる気」「組織コミットメント（愛社精神、忠誠心）」の影響に着目して、分析を行いました。その結果から、以下のような提案を行いました。

- ・部門や職種によって評価に対する不満要因（報酬、処遇、プロセス）が異なっているため、成果ではなく過程ごとに目標を設定し、過程を重視した評価制度を取り入れる。
- ・チャレンジ意識が全体的に低く保守的で安定志向という傾向が見られた。そのため、評価や報酬制度を見直し、チャレンジが評価されることを明示することで個人の将来につながる意欲を引き出していく。

会社からは、評価をフィードバックする機会は定期的に設けており、意見を言いやすい環境は整えていることから、「チャレンジ意欲を高めることがさらなる活性化につながる」との声を頂きました。

## まとめ

各社の調査結果から、WLBの取組を積極的に推進することが、企業・団体にとってプラスの影響を与えることが分かりました。この報告結果は他の企業・団体においても参考となるものであり、今後のセンターの支援方針にも生かしていきます。

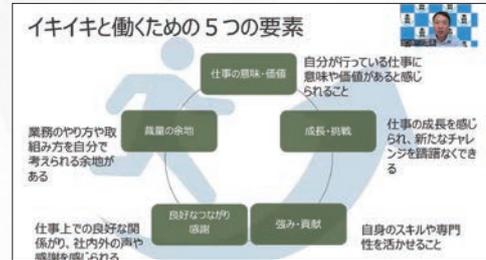
## 2024年度ひょうご仕事と生活センターのセミナー紹介

## ワーク・ライフ・バランス（WLB）基礎講座

[オンライン開催]

【開催時期】5月15日（水）、11月6日（水）

WLBの取組を進める企業・団体の担当者に、WLBの必要性やメリット、取り組むに当たって大切なポイントを伝える基礎的な講座です。



## キーパーソン養成講座～明日から実践するアクションプラン作成セミナー

【開催時期】6月18日（火）、7月16日（火）、8月20日（火）、10月8日（火）（全4回の連続講座）

WLBを組織全体で推進していくには、「社内での推進役（キーパーソン）の存在」と「プランの作成」が必須です。

この講座では、キーパーソンの果たすべき役割を理解した上で、自組織の課題や解決策を検討し、取組を効果的に進めるためのアクションプラン（行動計画）を作成。それを職場内でどう活かしていくかを考えます。



## キーパーソンOB・OGの会

【開催時期】2025年2月18日（火）

キーパーソン養成講座修了者を対象に、学び続けることができる場として、本気で組織を変えていくために学び合い、リーダーとして成長しながら、実際に自組織を変えていくことを目指す講座です。

## 認定・表彰企業学びの会

[オンライン開催]

【開催時期】7月11日（木）、9月11日（水）

認定・表彰企業のWLB担当者向けに開催するステップアップ研修です。

各企業・団体がWLB推進に取り組む中で出てきた問題点や課題・解決策について専門家の話も聞きながら学び合う会です。



## ワーク・ライフ・バランス地域セミナー・シンポジウム

【開催時期】10月～11月頃

それぞれの地域課題に対応したWLBに係るテーマの講演会等を神戸、阪神、姫路の各地域で開催します。



# センターからのお知らせ

## 2024年度上期 ひょうご仕事と生活の調和推進認定申請企業の募集

当センターでは、ワーク・ライフ・バランスの取組を進め、一定の成果を収めている企業・団体を厳正に審査し、「認定」しています。認定審査を希望する企業・団体のご応募をお待ちしています。

【応募対象】「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」に登録されている県内事業者で、「ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システム」の総合評価がおおむね星印2つ以上の場合、応募できます。

【応募方法】以下の書類をセンターまで持参または郵送

- ① ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定申請書
  - ② 労働関係法令等チェックリスト
  - ③ ワーク・ライフ・バランスWEB自己診断システムの診断結果(写し)
- ※申請書類はセンターのホームページからダウンロードできます

【応募締切】7月19日(金)

申請書類は  
こちら



## 「ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業」500社を達成!!

2014年10月にスタートした「ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度」の認定企業が3月1日、500社(団体等含む)に達しました。記念すべき500社目の認定企業、株式会社イズミフードマシナリ(南あわじ市)には、辻芳治センター長から認定証と記念品を進呈しました。今後も、さらに多くの企業・団体の皆さんと共にワーク・ライフ・バランス推進に向けた取組を続けていきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## ひょうご仕事と生活センター開設15周年記念事業 2024年度ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズの募集

県内企業や団体でのワーク・ライフ・バランスの取組を促進するキャッチフレーズを募集しています。皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【募集テーマ】「兵庫の若者が輝く!ワーク・ライフ・バランスで可能性を最大限に」

【対象】兵庫県に在住・在勤・在学の方

【応募方法】オンラインフォームから応募

【応募締切】7月26日(金)

- 【表彰】▶ 兵庫県雇用対策三者会議賞(グランプリ)  
副賞3万円(一般の部1点、学生の部1点)  
▶ 兵庫労働局長賞・働き方改革賞(準グランプリ)  
副賞1万円(一般の部1点、学生の部1点)  
▶ ひょうご仕事と生活センター長賞(佳作)  
副賞5千円(一般の部1点、学生の部1点)

※受賞者には、センター開設15周年記念としてシンボルキャラクター「はぐベン」のぬいぐるみも進呈します。

オンラインフォーム  
はこちら



応募に関する  
詳細はこちら



シンボルキャラクター  
「はぐベン」

## ひょうご仕事と生活センター助成金の内容を、2024年4月から一部変更しました

### 【変更点】

- ① 助成金の名称を「多様な働き方推進支援助成金」に変更。
- ② 助成の対象となる常時雇用の従業員の要件を「週30時間以上」から「週20時間以上」に緩和。
- ③ 育児・介護代替要員確保助成コースの支給の対象となる事業者の規模要件を緩和。
- ④ 働き方改革助成コース・環境整備型の助成対象に「LGBTQを対象とする専用施設」を追加。
- ⑤ 働き方改革助成コース・テレワーク導入型の助成対象をテレワーク用に整備するパソコン・タブレット等の「買い取り費用」から「リース費用」に変更。コワーキングスペースの借り上げ料の助成対象を「初回3カ月分」から「初回6カ月分」に拡充。

各助成金の  
詳細はこちら



育児・介護  
代替要員確保  
助成コース・  
休業型



育児・介護  
代替要員確保  
助成コース・  
短時間勤務型



働き方改革  
助成コース・  
環境整備型



働き方改革  
助成コース・  
テレワーク導入型



## 兵庫型奨学金返済支援制度を拡充しました

兵庫県では、中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、奨学金返済負担軽減制度を設ける中小企業とその従業員への補助を行っています。本年度から制度を拡充しましたので、ぜひご活用ください。



### 【支援対象】

企業	本社が県内にあり補助対象従業員に対して奨学金返済負担軽減制度を設けている、中小企業の県内事業所
従業員	対象企業に勤務し次の全てを満たす方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本学生支援機構の奨学金を借入れ、返済義務がある</li> <li>・正社員で40歳未満</li> <li>・県内事業所に勤務</li> </ul>

最大補助期間	補助総額	対象企業
5年	90万円 (うち県60万円)	県内に本社がある中小企業
10年 (拡充)	180万円 (うち県120万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひょうご産業SDGs宣言企業</li> <li>●フレッシュミモザ企業</li> <li>●ワーク・ライフ・バランス宣言企業</li> </ul>
17年 (拡充)	306万円 (うち県204万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひょうご産業SDGs認証企業</li> <li>●ミモザ企業</li> <li>●ワーク・ライフ・バランス認定企業 またはワーク・ライフ・バランス表 彰企業</li> </ul>

【補助期間】対象者1人につき最大17年間

【補助額】年間返済額の3分の2(上限12万円)  
※企業負担は3分の1

問い合わせ先：一般財団法人兵庫県雇用開発協会 TEL 078-362-6583

詳しくは  
こちら



## 「不妊治療促進企業支援事業」のご案内

兵庫県では、仕事と不妊治療を両立しやすい職場環境づくりを推進する企業に対し、支援金を交付します。

- 対象経費：就業規則の改正等不妊治療支援のための取り組み  
および普及啓発に要する経費
- 交付額：一律10万円(1回限り)

問い合わせ先：兵庫県健康増進課 TEL 078-362-9115

詳しくは  
こちら



# わが社のWLBな人



## WLB7

はぐペン (ペンギン)…夫婦共働きで協力しながら子育て  
ケアモン (さる)…親の介護を行いながら職務に励む  
テレくま (くま)…テレワークを利用して在宅勤務  
キーライオン (ライオン)…社内におけるWLBのキーパーソン  
アクティブー (みつばち)…女性社員のリーダーで初の女性役員候補  
ヤルぞう (ぞう)…再雇用制度を利用するベテラン  
フレッジ (カエル)…フレックスタイムを利用

シンボルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス(WLB)を進める方々をFacebook、Instagramで紹介しています。



Instagram



facebook

2024年1月～3月に取り上げた人を投稿日順に紹介します。

### 【2022年度認定企業】

#### 株式会社東光バネ工業社(神戸市) 村上さん [表紙写真:左]



ケアモン (介護)

村上さんは派遣社員として入社した時、在宅介護歴4年。実母や義父母らを介護した経験がある同社の会長には、介護保険制度など、必要に応じて相談に乗ってもらいました。そのことを、村上さんは「身近に介護の話ができる人がいなかったのが、ありがたかった」と喜びます。「安定した立場で働き続けられるように」と、昨年、

正社員に登用されました。「体も心も楽になった」と話す村上さんに、「より責任ある仕事を任せていきたい」と会長も期待を込めています。

(2024年1月)

### 【2022年度認定企業】

#### ハリマニックス株式会社(高砂市) 米口さん [表紙写真:中]



はぐペン (子育て)

米口さんは、約5カ月間の育児休業を取得したいと会社に相談。「快く受け入れていただき、職場のメンバーが私の業務をその間しっかりとこなしてくれました。安心して妻と育児に専念することができ、大変感謝しています」と振り返ります。育児休業を取得して一番良かったと感じることは、「生後間もない一番大変な期間の育児

を経験することで、妻と苦勞を分かち合い、お互いに強い感謝の気持ちを持つことができたことでした」と笑顔で話します。

(2024年2月)

### 【2021年度認定企業】

#### 西部サービス株式会社(神戸市) 吉田さん [表紙写真:右]



はぐペン (子育て)

吉田さんは自分の時間も大切にしつつ、育児をしながら時短勤務で働いています。それができるのは、「育児や家事を夫婦で協力し合っているから」とのこと。夫婦間で互いのスケジュールを確認できるアプリに、出張や友達との会食、保育園の行事予定などをそれぞれが入力し、情報を共有しています。また、会社も一つの仕事

を2人1組体制にしており、有給休暇や育児休業を取得しやすい環境づくりをしているそうです。「任された仕事以外も積極的にこなす」彼女からは、仕事にも家庭にも前向きな気持ちが大切だと感じさせられました。

(2024年3月)

### センターの主な事業

- ワンストップ相談 ● コーディネーター、コンサルタントの派遣 ● 外部専門家による研修・実践支援
- テレワークサポートセンター ● 自己診断システム ● 中小企業従業員意識調査 ● 企業助成

## 公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00 (祝休日、年末・年始を除く)

### 阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

### 姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

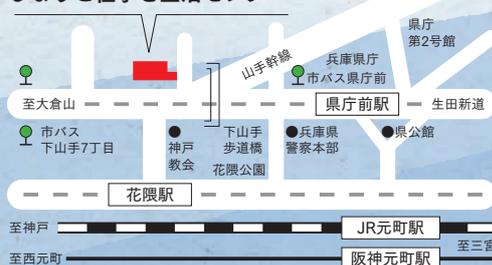
ひょうご仕事と生活センター

検索

携帯、  
タブレットから  
アクセスできます



### 兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

(2024年6月発行)